

サラリーマン

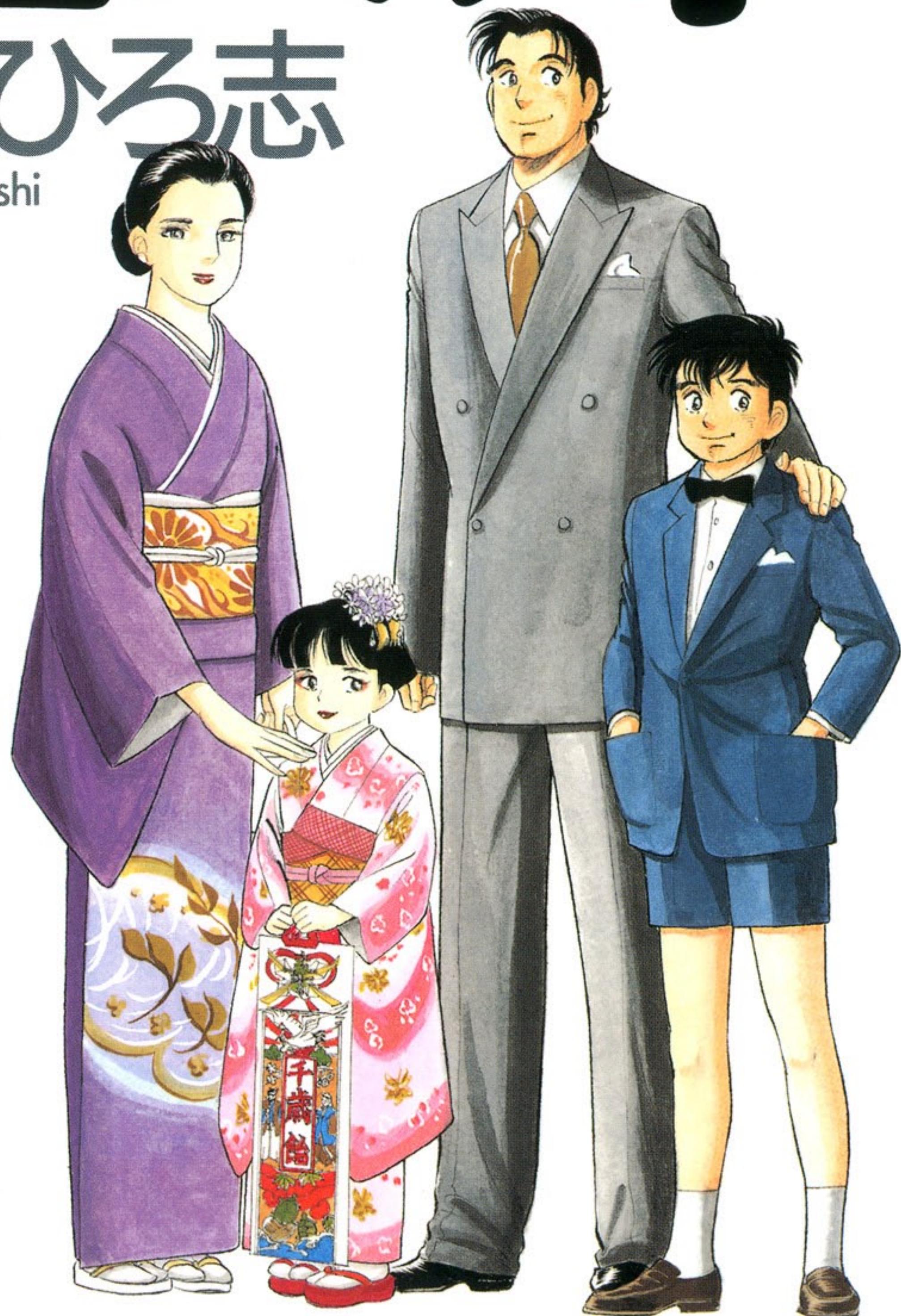
# 金太郎

## 本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

# 25

金太郎、旅す





サラリーマン  
**金太郎**

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

**25**

金太郎、旅す



## 【前巻までのあらすじ】

● サラリーマンになるため、漁師をやめて上京してきた一人の男——その名を“矢島金太郎”といつ。亡き妻、明美の忘れ形見・竜太を背負い、一流企業「ヤマト建設」にやってきた。しかし、この男、元は暴走族「八州連合」の頭ヘッドという型破りな経歴の持ち主。ヤマト建設会長・大和守之助を救ったのがきっかけで中途採用されたのだった。

様々な妨害や困難に誰よりも熱く立ち向かっていく金太郎の生き様は、多くの者を魅了。金太郎はその人脈を広げていった。

ヤマト建設は社名を「(株)ヤマト」と変え、再出発する。辞表を出した金太郎は米国に留学するが、元大統領の愛人を殴り、告訴された。有罪となり、6か月の市内清掃を命じられた金太郎は、それに時間をさかれ、ビジネススクールを落第してしまった。帰国後、ヤマトに復職した金太郎は、東京湾岸にある大日本製鉄所有の広大な遊休地の企画を任せられる。そこに未来都市を建設するという大プロジェクト実現に向け、金太郎チームは動き出す。しかし、ライバルの鷹司が企画を盗用、金太郎が折衝役にと望んだ大島を取り込んで大日本製鉄と接触し、自分の企画として通してしまう。それまでの努力が水泡に帰した金太郎は、鷹司を責めるどころか、仕事に関わせてほしいと頼み込む。その態度に大島が心を動かし、鷹司の盗用を告発。大日本製鉄は鷹司グループとの計画を白紙に戻し、アクアライン未来都市構想をヤマトの企画として受け入れる。国家を巻き込む大プロジェクトに官僚、業界は真っ二つにわかれ。裏工作で計画を潰そうとする力に対し、金太郎はマスコミを使い対抗しようとするが、伊郷に止められる。結局、プロジェクトは成立するが、ヤマトは単独受注を断念。大手ゼネコン六社と共同施工することに…。



矢島美鈴



伊郷龍蔵



矢島金太郎



石坂翔平



石坂夏美

サラリーマン  
**金太郎**

25

金太郎、旅す

【目次】



第140話●金太郎、病む。

第141話●金太郎、冒険す。

第142話●金太郎、父として。

第143話●金太郎、社長室長再任。

## 【登場人物】

矢島金太郎（やじま・きんたろう）…………米留学から帰国後、株ヤマトに復職。

矢島竜太（やじま・りゅうた）…………金太郎の長男

矢島美鈴（やじま・みすず）…………金太郎の妻・銀座の一浴クラブの元マダム

矢島美香（やじま・みか）…………金太郎と美鈴の娘

伊郷龍藏（いじょう・りゆうざう）…………株ヤマトの会長

矢島照男（やじま・てるお）…………金太郎の父

後藤重雄（ごとう・しげお）…………金太郎の中学時代の同級生・医師

石坂夏美（いしざか・なつみ）…………金太郎の中学時代の同級生

石坂翔平（いしざか・しょうへい）…………夏美の息子

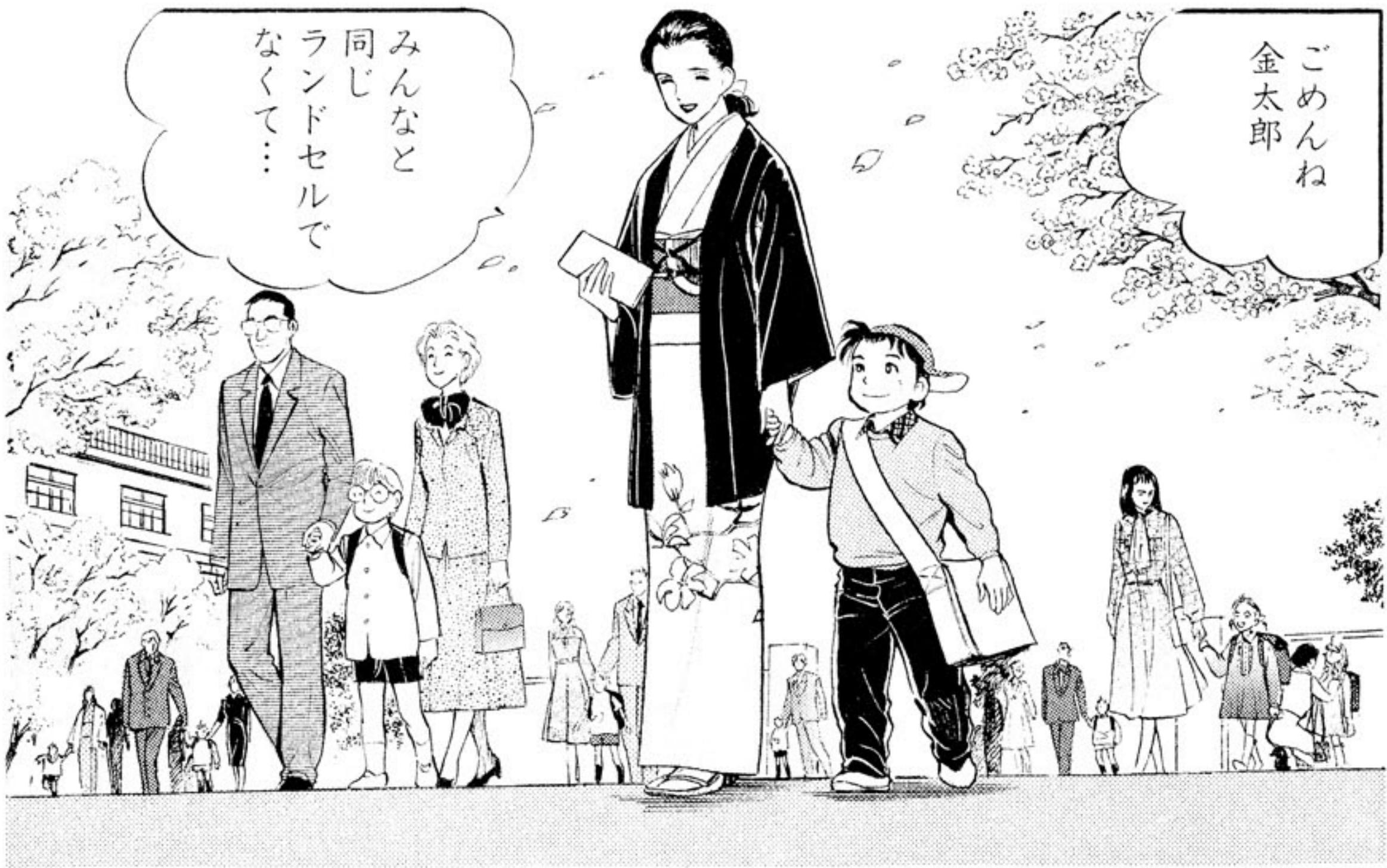
大石大作（おおいし・だいさく）…………株ヤマトの代表取締役社長

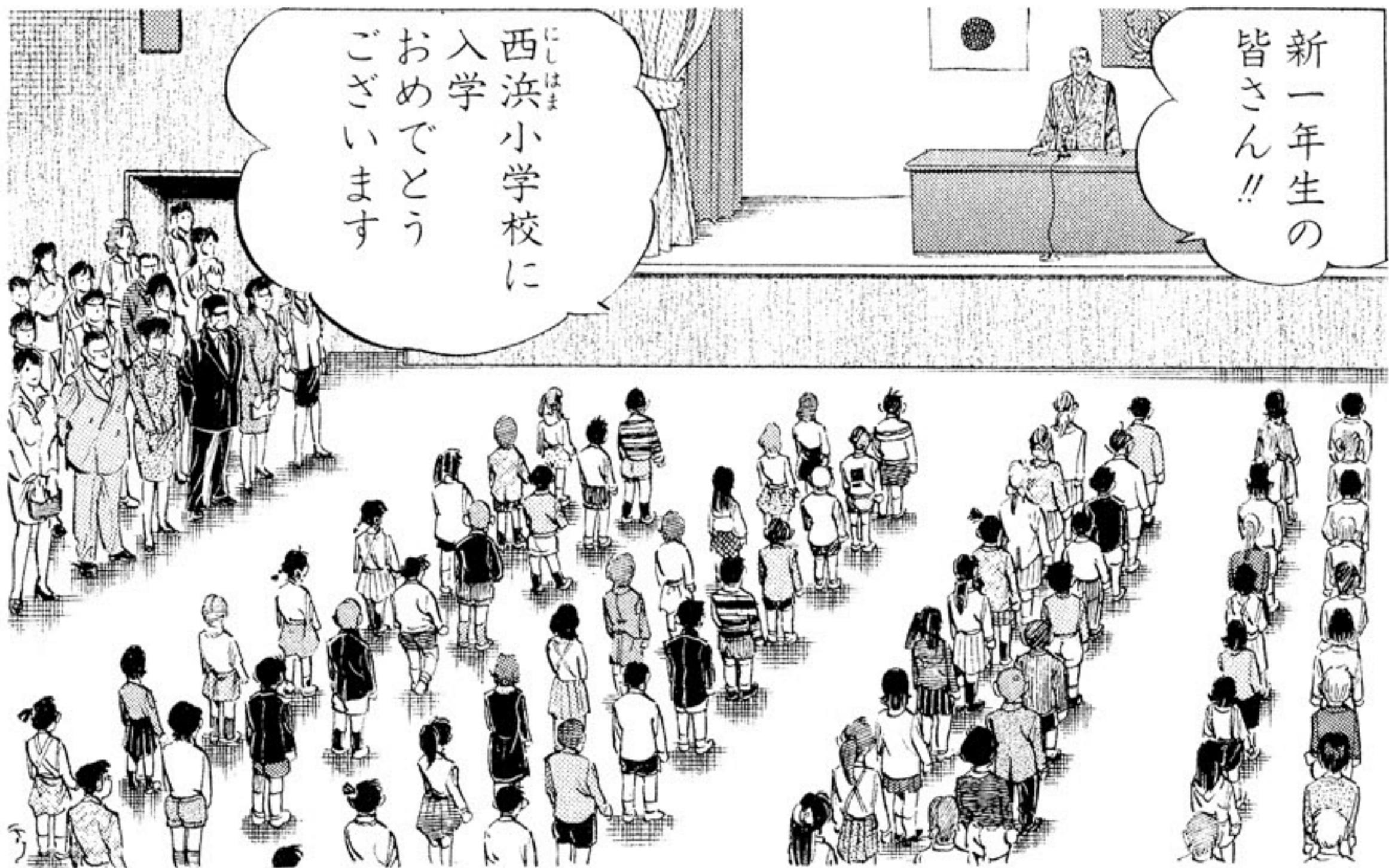
# 第140話



金太郎、病む。

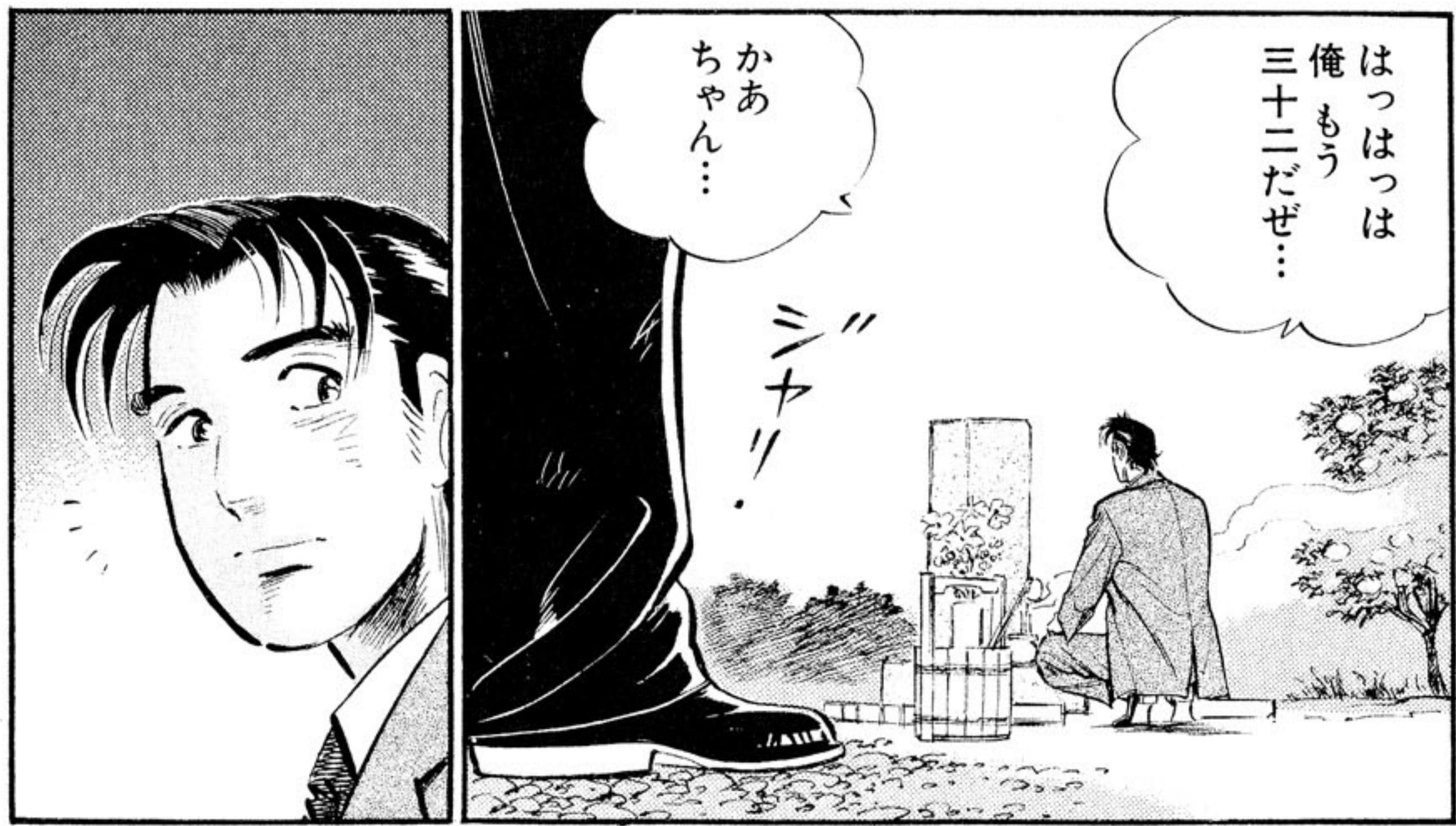
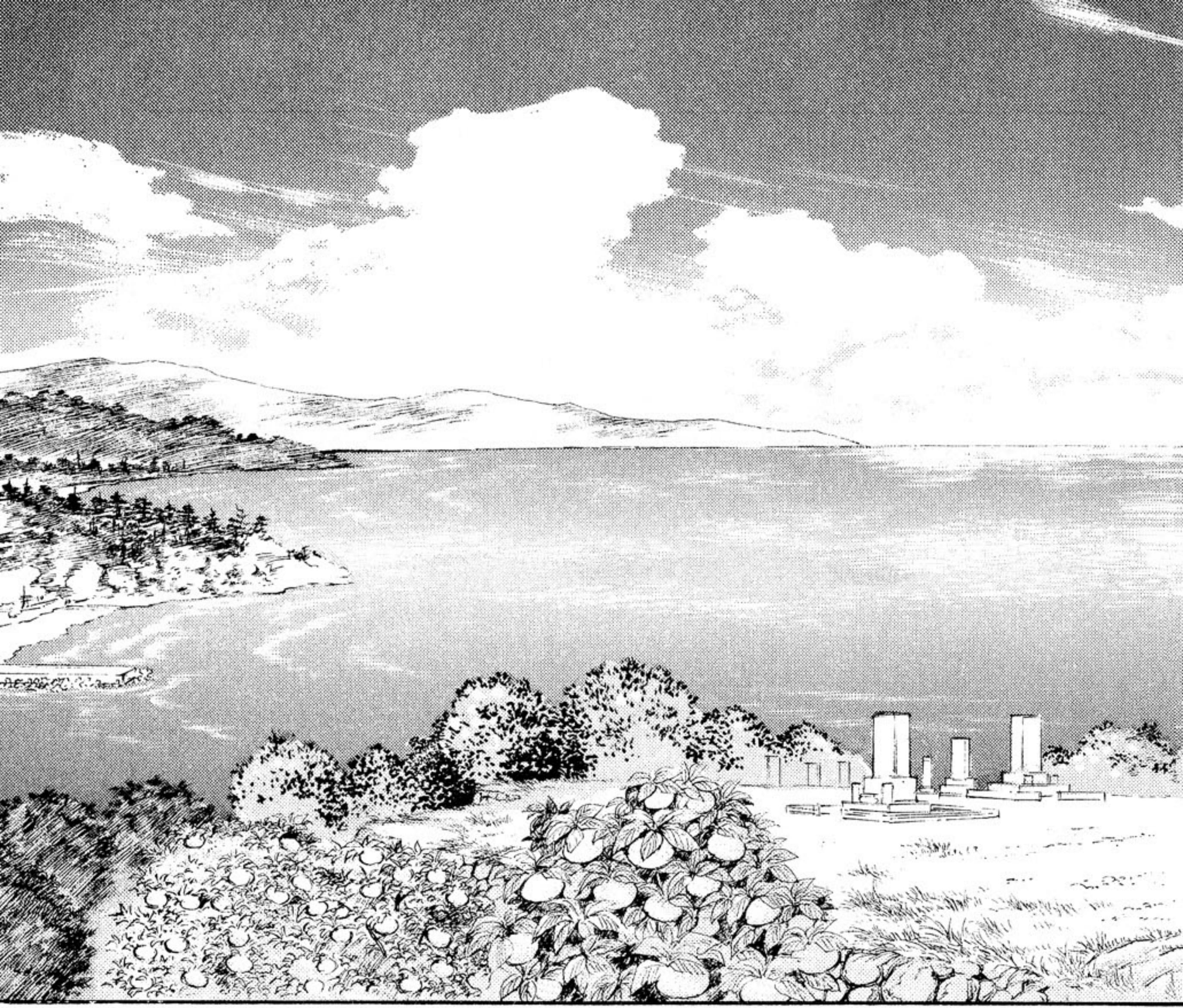


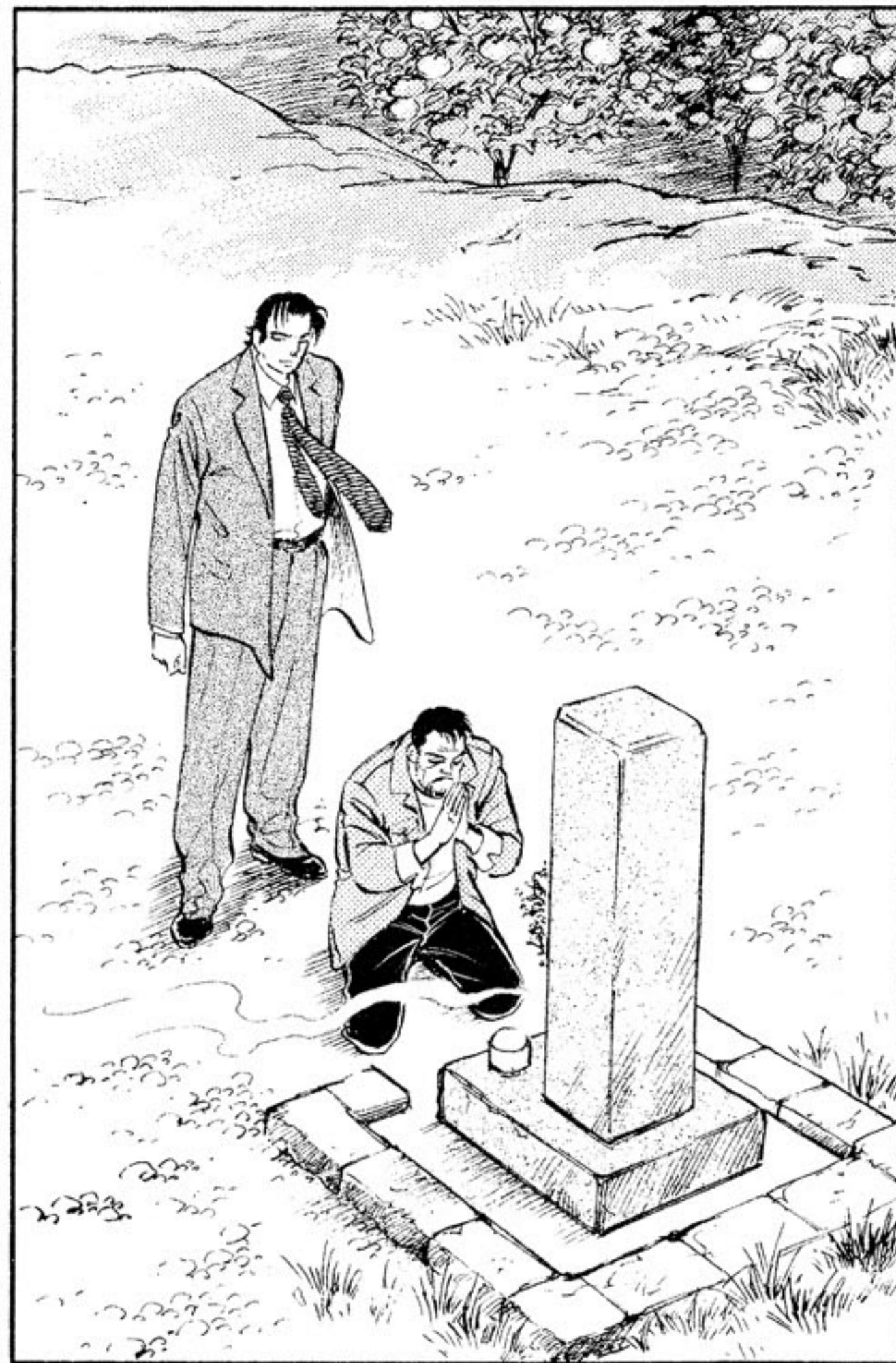




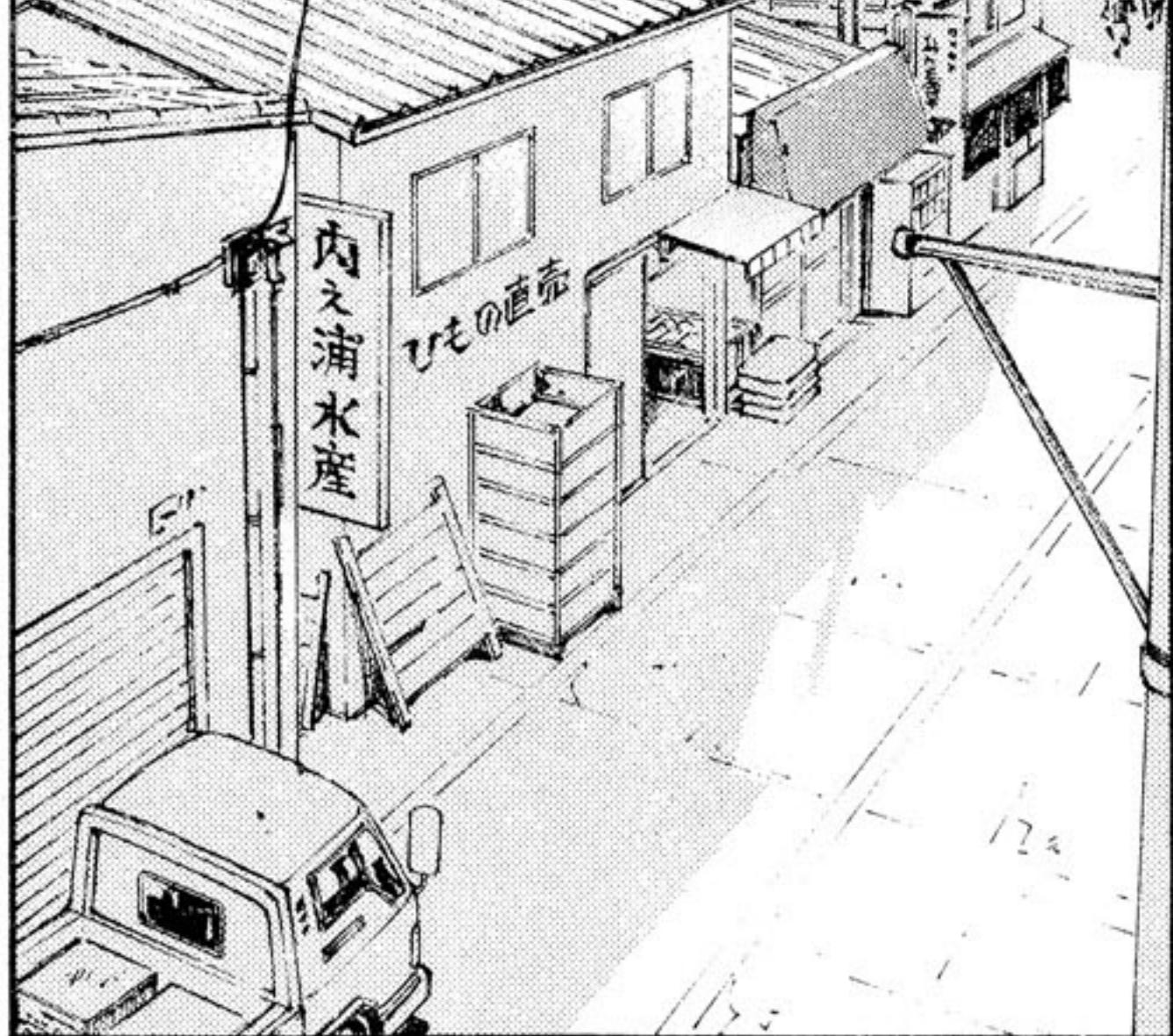
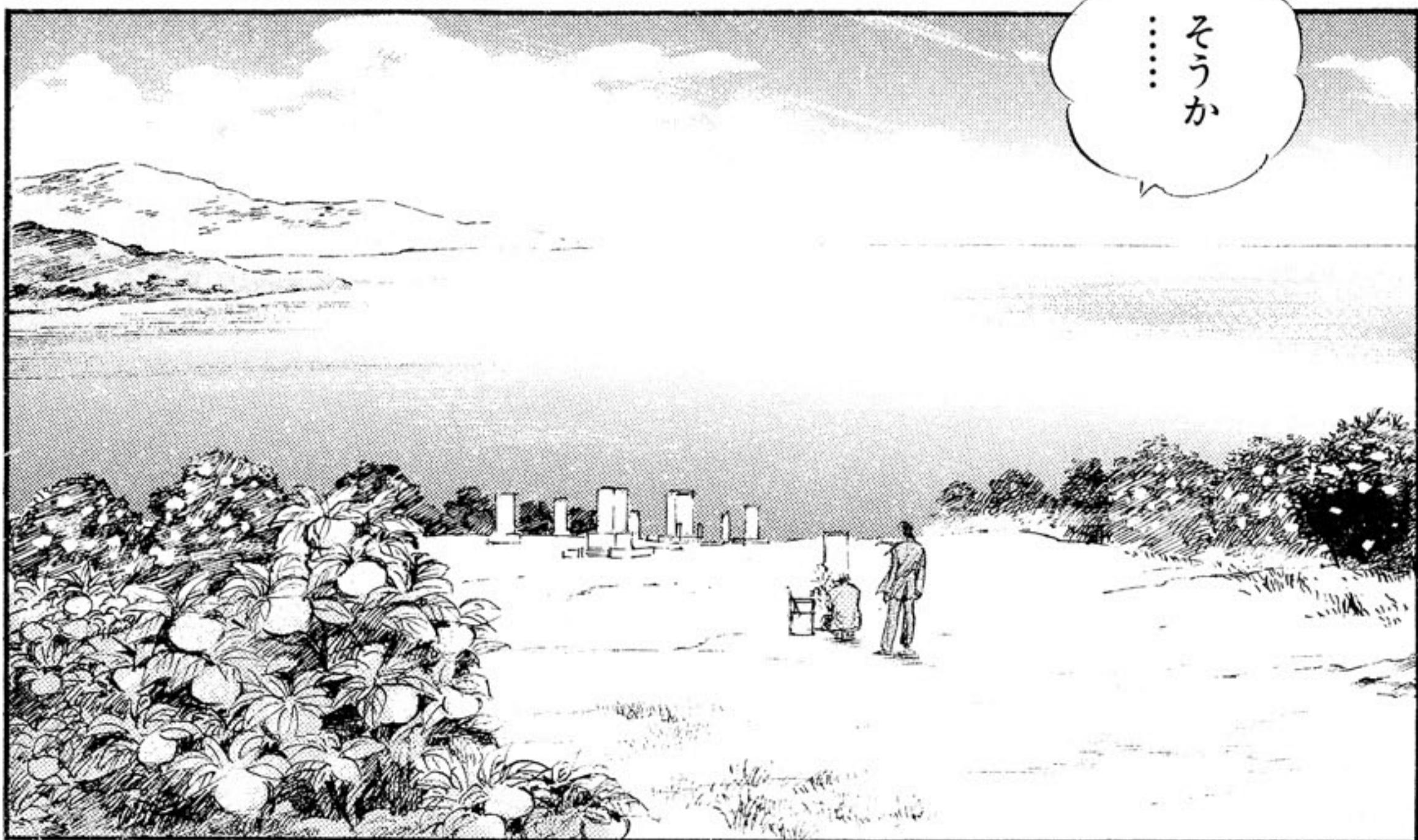


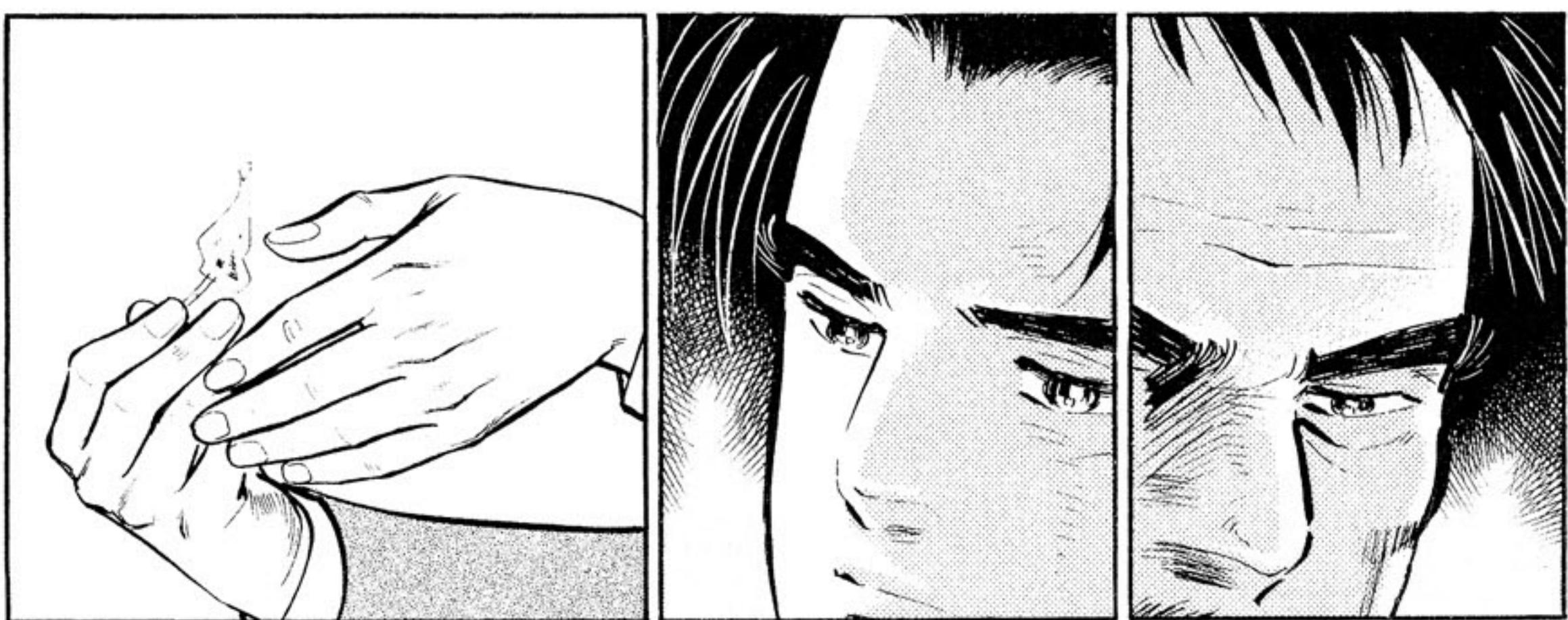






# サラリーマン金太郎②





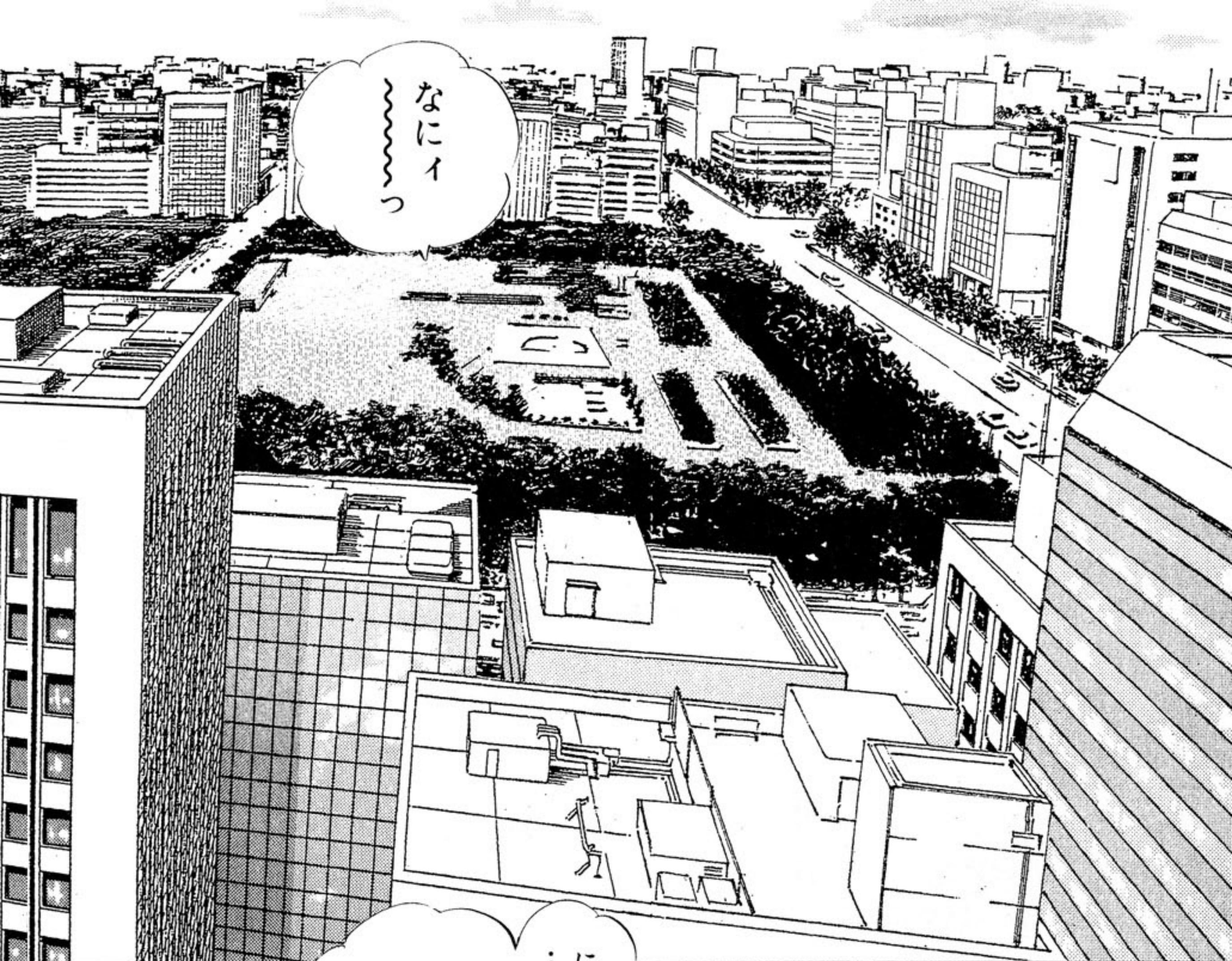
# サラリーマン金太郎②





# サラリーマン金太郎②







北海道  
支社長つて

左遷させんにしても  
すげえ  
これつて!!

辭令

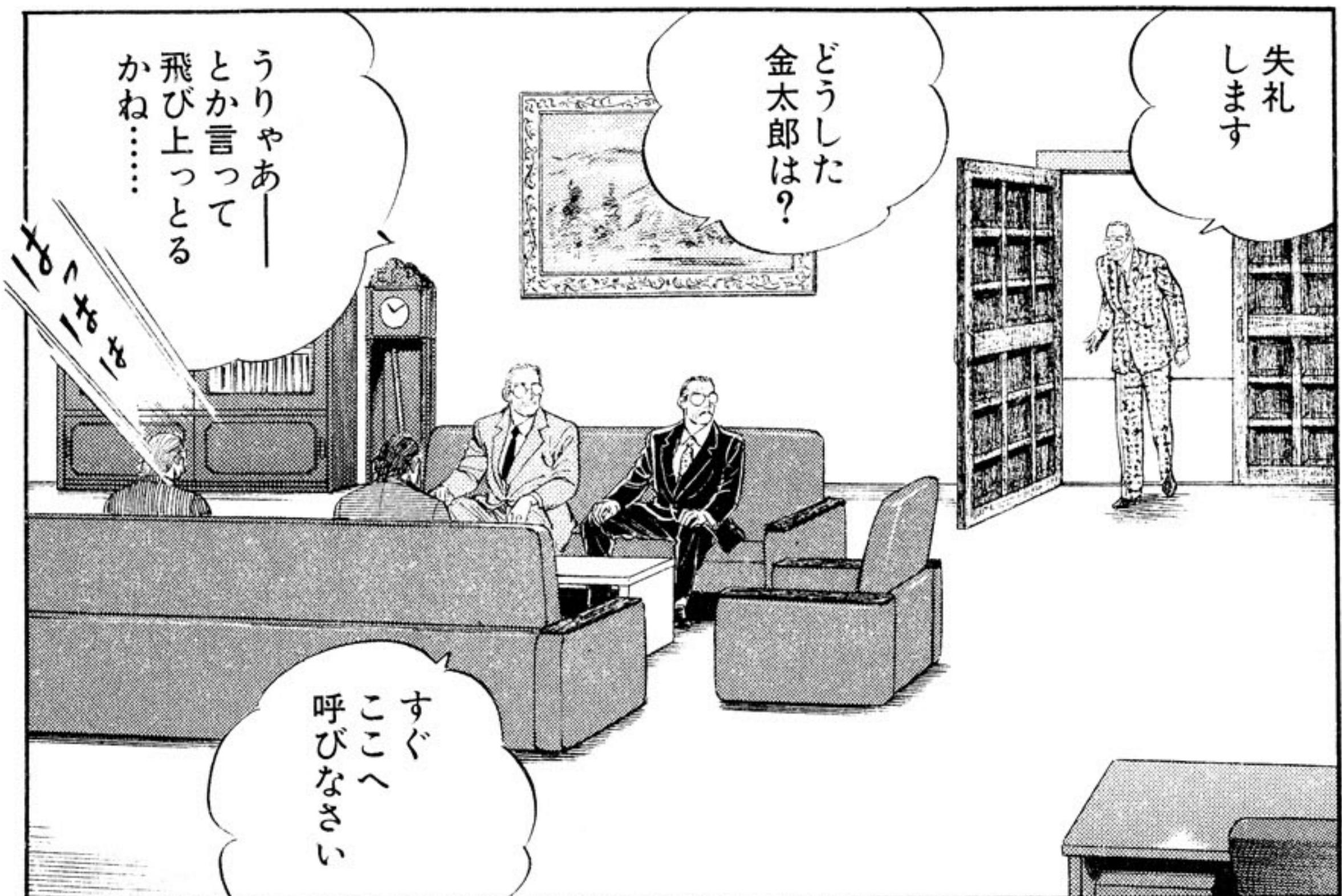
矢島金太郎殿

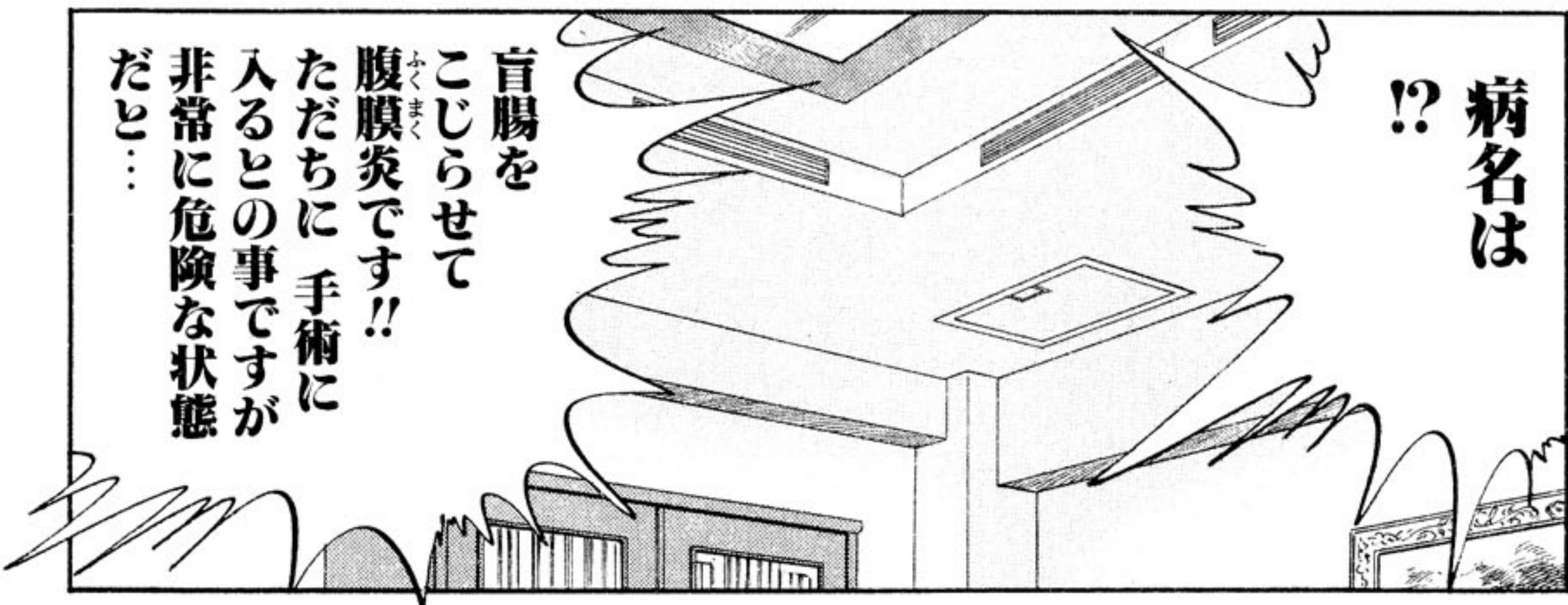
五月一日付けを以て

北海道支社長に任ずる

支社長つたら  
本社部長待遇  
やだよ!!  
やつたぜ!!  
あのヤロー!!

(株) ヤマト代表取締役  
大石 大作





入院先は  
!?

静岡の  
西浜病院  
です!!



